

当院での新生児の管理に関する説明書

1) 出生直後の赤ちゃんへのふれあいについて

出生直後は、赤ちゃんが子宮外の環境に適応していく時期になります。当院では、出生直後の赤ちゃんを観察し必要なケアをした後に、赤ちゃんとお母さんの状態が安定しており、お母さんのご希望を確認のうえ赤ちゃんへのふれあいを行っています。分娩室にいる間、赤ちゃんは酸素モニターを装着しています。出産後2時間は分娩室で過ごします。赤ちゃんの写真をとったり、母乳を吸わせたりして過ごします。

2) 母児同室について

当院では母児同室を推奨しています。赤ちゃんとお母さんの状態を確認して分娩当日から同室可能です。赤ちゃんと昼夜過ごすことで、マニュアル通りとは違った赤ちゃんの生活リズムやお世話の方法を覚えることができ、退院後の不安が少なくできるようにご支援させていただいています。また、赤ちゃんがほしがった時に授乳（自律授乳）ができ母乳分泌も促進されます。赤ちゃんを新生児室からお母さんにお返しする際はネームバンドでお名前を照合していますのでご協力ください。

3) 入院中の赤ちゃんの検査

- (1) 小児科医による診察 出生当日または翌日、退院前日診察
- (2) 体重測定 毎日1回
- (3) 黄疸のスクリーニング検査 毎日 2回/日 必要に応じて採血
- (4) 先天代謝異常マススクリーニング採血 生後5日目
- (5) 聴覚検査 希望者のみ 生後3日目（市町村により助成券があります。）
- (6) 血糖測定 必要に応じ（低血糖のリスクのある赤ちゃん） 出生当日～生後1日

4) 面会制限について

当院はNICU（新生児集中治療室）を有し、治療の必要な赤ちゃんが入院しています。産科病棟では新生児への感染拡大と不審者の侵入防止のためオートロックを導入し面会制限を設けております。具体的な制限内容は入院のしおりをご参照ください。また、様々な感染症の流行により制限が変動することがありますので病院のルールに基づき、ご協力いただけますようお願いいたします。赤ちゃんを病棟外へ連れ出すことはできません。また、面会される方の体調管理も必要です。感染防止対策にご協力ください。

5) 新生児搬送について

当院小児科医と連携をとり、新生児管理を行っています。赤ちゃんの異常が見つかった場合は、当院のNICU/GCUへ入院になることがあります。疾患によっては隣設する小児医療センターや近隣病院のNICUなど専門機関へ新生児搬送する場合があります。また当院のNICUが満床の場合も他施設への新生児搬送となる場合もあります。

6) 母乳について

基礎疾患をお持ちの方で、産後も内服の継続が必要なお母さんは、かかりつけの医師に母乳を与えてよいか、妊娠中に必ず確認しておいてください